

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	AVD+BV
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	CD30陽性のホジキンリンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	HL-007
登録日・更新日	2018年10月23日 2020年6月23日更新
削除日	
出典	N Engl J Med. 2018;378:331-344
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ビンブラスチン硫酸塩 (エクザール注射用) 生理食塩液	10mg 100mL	6mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	bolus	Day1, day15
No.3	ドキシソルピジン塩酸塩 (ドキシソルピジン塩酸塩注射液) 生理食塩液	10mg, 50mg 100mL	25mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	bolus	Day1, day15
No.3	ダカルバジン (ダカルバジン注射用) 生理食塩液	100mg 250mL	375mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	1時間	Day1, day15
No.1	プレトキシマブ ベドテン(遺伝子組換え) (アドセトリス点滴静注用) 生理食塩液	50mg 100mL*	1.2mg/kg **	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分	Day1, day15

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【開始基準】 ANC>1500/μL、Plt>7.5万/μL、Hb>8.0g/dL、AST,ALT<100IU/L、T-Bil<1.5mg/dL、Scr<2.0mg/dLまたはCr>40mL/min、PS0-2</p> <p>【プレトキシマブベドテンの減量・中止基準】</p> <p>●好中球減少症 Grade 1-2 Grade 3-4 ・同一用法・用量で、投与を継続する。 ・ベースライン又はGrade 2以下に回復するまで休業する。 回復後は、同一用法・用量で投与を再開する。</p> <p>●非血液毒性(末梢神経障害以外) Grade 1-2 Grade 3-4 ・同一用法・用量で、投与を継続する。 ・ベースライン又はGrade 2以下に回復するまで休業する。 ただし、臨床的に許容される電解質検査異常を発症した場合は、中断することなく治療を継続することができる。</p> <p>●末梢神経障害 Grade 1(機能障害はなく、知覚障害、反射消失のみ) ・同一用法・用量で、投与を継続する。 Grade 2(機能障害はあるが、日常生活に支障はない) ・0.9mg/kgに減量して投与を継続する。 Grade 3(日常生活に支障がある) ・Grade 2以下に回復するまで休業する。 回復した場合は、0.9mg/kgに減量して投与を再開する。 神経毒性を有する併用薬剤については、各添付文書を参照し、減量を考慮する。</p> <p>Grade 4(障害をきたす感覚ニューロパチー、生命を脅かす又は麻痺を来す運動ニューロパチーがある) ・投与中止する。</p>
前投薬	5-HT3受容体拮抗薬+デキサメタゾン±アプレピタント
その他の注意事項	<p>・最大6サイクルまで ・ビンブラスチンの1回最大投与量は10mg/body ・ドキシソルピジンの累積最大投与量は500mg/m² ・ダカルバジンの血管痛防止の目的では点滴経路全般を遮光して投与。</p> <p>*希釈後の薬液濃度が0.4~1.2mg/mLとなる液量とする</p> <p>**体重が100kgを超える場合は100kgとして計算する。</p>

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	竹内 正美